

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
5 4	滋賀医科大学福祉保健医学講座
<b>題名 (原題/訳)</b> Demographic, health, lifestyle, and blood vitamin determinants of serum total homocysteine concentrations in the third National Health and Nutrition Examination Survey, 1988-1994. 血清総ホモシステイン濃度を規定する人口学的指標、健康状態、生活習慣および血液ビタミン濃度に関する第三次米国健康・栄養調査(NHNES III)1988-1994 での検討	
<b>執筆者</b> Ganji V, Kafai MR; Third National Health and Nutrition Examination Survey.	
<b>掲載誌 (番号又は発行年月日)</b> Am J Clin Nutr. 2003 Apr;77(4):826-33.	
<b>キーワード</b> ホモシステイン、NHNES III、人口学的指標、健康状態、生活習慣、血液ビタミン濃度	
<b>要 旨</b>  (背景) 血清総ホモシステイン(tHcy)の上昇は循環器疾患の独立危険因子である。本研究では tHcy と関連する人口学的指標、健康状態、生活習慣および血液ビタミン濃度について検討した。 (方法) 第三次米国健康・栄養調査(NHNES III)1988-1994 のデータを用い男性 2,965 人、女性 3,580 人を対象に、tHcy と人口学的指標、健康状態、生活習慣および血液ビタミン濃度の関連を検討した。 (結果) 非調整 tHcy は男性が女性より 21.5%高く、非ヒスパニック系白人はメキシコ系アメリカ人より 11.8%高く、70 歳以上の対象は 30 歳未満の対象に比べて 42%高く、ビタミンミネラル補償剤非服用者は服用者に比べて 10.9%高かった。tHcy 値と以下の値は負の相関があった：(血漿葉酸値 (trend $P < 0.0001$ )、赤血球葉酸値 (trend $P < 0.0001$ )、血清ビタミン B12 値 (trend $P < 0.0036$ ))。一方飲酒量 (trend $P < 0.0001$ )、喫煙指標である血清コチニン (trend $P < 0.0001$ )、収縮期血圧 (trend $P < 0.0001$ ) とは正の相関があった。アルコール濃度の高い酒と tHcy は正の相関があったが (trend $P < 0.0001$ )、ビール、ワイン飲酒とは関連がなかった。 (結論) tHcy の予知因子は性、年齢、人種、血清クレアチニン、収縮期血圧、BMI、アルコール高濃度酒、喫煙、ビタミンミネラル補償剤、血清葉酸値、赤血球葉酸値および血清ビタミン B12 値であった。	